

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に関連性がありますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)「人材の養成・教育研究上の目的」として策定している。心身の健康創りに関する様々な知識や実践方法を身に付けた人材を育成する本学科としては、適切な内容と考えている。</p> <p>(2)心身の健康創りに寄与する人材を育成する本学科の目的は、大学の建学の精神「行学一体、報恩感謝」と目的「人類の福祉と文化の発展に貢献すること」と密接に関係している。</p>				
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-1 健康	「人材の養成・教育研究上の目的」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/purpose1.pdf 】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
<p>[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身科学部健康科学科の人材育成その他の教育研究上の目的は、「愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程」に明示している。</p> <p>(2)大学のホームページ、履修要項等に記載し、教職員及び学生に周知するとともに社会に公表している。また、入学式当日の対面式(新入生保護者オリエンテーション)等でも紹介している。</p>				
<p>[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
1-1健康	人材の養成・教育研究上の目的」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/guide/ideal/ 】			
1-2健康	「2019年度 履修要項」(人材の養成・教育研究上の目的)			
1-3健康	健康科学科 新入生保護者オリエンテーション			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。 特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	方針及び手続きに基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1)	学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 毎月学科会議を開催し、学科の教育研究上の問題点について協議している。特に本学科では学生の就学状況について問題のある学生の情報共有に努めている。その内容は、心身科学部自己点検・自己評価委員会に集約し、内部質保証体制を構築している。</p> <p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2-1 健康	健康科学科学科会議要約集			
2-2 健康	心身科学部自己点検・自己評価委員会議事録			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし、たうで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
③	学生の情報を共有することによって関係の教員が適切に学生指導できる体制となっており、中途退学率が低い(入学者の9割が4年間で卒業している)。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
2-3健康	卒業率の推移

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)卒業認定・学位授与の方針(DP:ディプロマ・ポリシー)として、大学ホームページ、履修要項等で公表している。健康科学を活かしたアプローチができる人材を養成する本学科としては適切な内容と考えている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-1健康	「ディプロマ・ポリシー」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/diploma01.pdf 】□			
4-2健康	卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)(心身科学部履修要項抜粋)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な関連性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)心身の健康づくり指導者(保健体育教員、健康運動指導士、健康運動実践指導者、養護教諭、言語聴覚士等)の養成を目的とする健康科学科では、取得を希望する資格に必要な科目を修得することで卒業できるカリキュラムとなっている。こういった教育課程の編成・実施方針を、教育課程編成・実施の方針(CP:カリキュラム・ポリシー)として設定し、大学ホームページ、履修要項に公表している。また、カリキュラムツリー、カリキュラム概要等を、ホームページ、大学案内、履修要項、学科パンフレット等で公表している。</p> <p>(2)学位授与方針(DP)を達成するために教育課程編成・実施の方針(CP)を策定しているので関連性がある。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-3健康	「カリキュラム・ポリシー」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/curriculum01.pdf 】□			
4-4健康	健康科学科カリキュラムツリー(心身科学部履修要項抜粋)			
4-5健康	健康科学科カリキュラム概要(心身科学部履修要項抜粋)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 心身の健康づくり指導者(保健体育教員、健康運動指導士、健康運動実践指導者、養護教諭、言語聴覚士等)に必要な資質を身につけるための授業内容・形態等が教育課程の編成・実施方針となっており、教育課程とも整合性がとれている。</p> <p>(2) 心身の健康づくり指導者(保健体育教員、健康運動指導士、健康運動実践指導者、養護教諭、言語聴覚士等)の資格取得に必要な科目を開設し、体系的に配置しているので適切である。</p> <p>(3) 教育課程の編成・実施方針は、心身の健康づくり指導者(保健体育教員、健康運動指導士、健康運動実践指導者、養護教諭、言語聴覚士等)の資格取得に必要な資質を身につけるための内容となっており、個々の科目内容は方針を踏まえている。なお、本学科のカリキュラム・ポリシーは、これらの資格取得を目指すためのポリシーとなっており、シラバス作成・チェック時に整合性を確認をしている。</p> <p>(4) 1年次に卒業必修の専門基礎科目である入門系4科目とプレセミナーⅠとⅡ(少人数教育)を配置し、健康科学の基本を学ぶ初年次教育を実施している。それらに加えて1年次から2年次にかけて教養教育科目と専門基礎科目、2年次から専門展開科目、3年次からセミナーと、段階的に健康科学を学ぶ教育体系としている。</p> <p>(5) 心身の健康づくり指導者(保健体育教員、健康運動指導士、健康運動実践指導者、養護教諭、言語聴覚士等)の資格を取得し、職業的自立を可能とする教育を実施している。また、健康科学科では、講義、演習、実技、実習、セミナー等、多彩な教育形態で授業を展開し、創造的かつ協調的な人間性を養成しており、資格を取得しなくても職業的自立が可能となる教育を実施している。それは、就職決定率(内定率)の高さに結びついていると考えている。</p> <p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-4健康	健康科学科カリキュラムツリー(心身科学部履修要項抜粋)			
4-5健康	健康科学科カリキュラム概要(心身科学部履修要項抜粋)			
4-6健康	保健体育養護教諭科目(心身科学部履修要項抜粋)			
4-7健康	スポーツ系資格取得科目一覧(心身科学部履修要項抜粋)			
4-8健康	言語聴覚士科目(心身科学部履修要項抜粋)			
4-9健康	健康科学科履修モデル(心身科学部履修要項抜粋)			
4-10健康	健康科学科カリキュラムマップ(心身科学部履修要項抜粋)			
4-11健康	健康科学科就職決定率の推移			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)シラバスに授業時間外の学習を記載するだけでなく、授業内でも指導している。また、履修登録単位数の上限を設けている。講義内容について予習や復習の成果をみるために、小テストや発表を行うなどの工夫を凝らしている。</p> <p>(2)各科目のシラバスに、授業のテーマ、授業の概要、授業の到達目標、授業計画、評価方法・基準等を明示しており、毎年各コースの担当者が関連科目のシラバスをチェックしている。また、資格によっては資格認定団体にシラバスを提出する必要があり、認定団体から承認が得られるようにシラバスの修正を行っている。一連のチェックによって、シラバスの内容の適切性や授業内容とシラバスの整合性は保たれている。</p> <p>(3)演習、実技、少人数教育等によって、学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じている。</p> <p>(4)教育効果向上のために、可能な科目では2クラスに分けて実施している。資格取得にあたっての科目選択が複雑なこともあり、毎学期の履修登録前に専門ガイダンスを開催し適切な履修指導を実施している。特に新入生には教務課と教養部と協力してガイダンスを行っている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-12健康	健康科学科シラバス			
4-13健康	履修登録(心身科学部履修要項抜粋)			
4-14健康	シラバス第三者チェック申請書			
4-15健康	健康運動指導士実践指導者シラバスチェック			
4-9健康	健康科学科履修モデル(心身科学部履修要項抜粋)			
4-16健康	新入生オリエンテーション配布資料			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示していますか。	
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)「愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン」に準じて、成績評価方法をシラバスに記載し、授業時にも紹介している。その評価方法に基づき成績を評価している。既修得単位については、履修要項(単位認定)に示し、適切に認定している。</p> <p>(2)全学的に「愛知学院大学の単位認定及び成績評価に関するガイドライン」を施行し、成績評価の厳格化を図っている。資格取得を目的とする科目においては、該当する資格に相当する能力かどうか、資格認定試験に合格する能力があるかどうかを単位認定の基準となる。</p> <p>(3)卒業要件を学則で定めており、履修要項に掲載している。</p> <p>(4)</p> <p>(5)「愛知学院大学学位記授与に関する規程」に則り、卒業認定は、学部教授会で審議した後、代表教授会で行っており、学位授与の客観性、厳格性を確保している。また、第1期生より「卒業論文発表会」「卒業論文審査」を開催しており、優秀な卒業論文については明示した基準で客観的に評価している。</p> <p>(6)「愛知学院大学学位記授与に関する規程」を遵守し、学科会議で学位授与について検討した後、学部教授会、代表教授会を経て学位授与が決定している。資格を取得し専門職として社会貢献をする学生は多く、就職決定率も高いことから学位授与のレベルは保たれており、適切な学位授与と言える。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-17健康	単位認定(心身科学部履修要項抜粋)			
4-18健康	学則(心身科学部履修要項抜粋)			
4-11健康	健康科学科就職決定率の推移			
4-19健康	健康科学科資格取得者数の推移			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 ≪学習成果の測定方法例≫ ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) アセスメント・プランとアセスメント・チェックリストを作成し、ディプロマ・ポリシーに示す学習成果を測定するための指標を設定している。各種免許・資格関連科目においては、該当する資格に相当する能力の有無で単位認定を行い、ディプロマ・ポリシーに示した学習成果を把握するための指標を設定している。 (2) 資格取得を目指す学生については、資格認定試験合格や教員採用試験合格が学習成果を示すひとつの指標となる。また、就職状況も指標のひとつとして活用している。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-11健康	健康科学科就職決定率の推移			
4-19健康	健康科学科資格取得者数の推移			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。 (1) 資格認定試験や教員採用試験合格者数が直接的な教育成果となる。これらの評価指標(教育成果)について教員間で協議を行い、教育内容・方法の改善をしている。また、全学授業アンケート、学生インタビュー結果等を利用し、授業改善を行っている。それを、心身科学部自己点検・自己評価委員会(心身科学部教授会を含む)で教育課程及びその内容、方法が適切であるかどうかを点検・評価している。 (2) 適宜に学則改正を必要とするカリキュラム変更(学則変更)を行ってきた。2018年度には、大幅なカリキュラム改正を行った。さらに、心身科学部自己点検・自己評価委員会(心身科学部教授会を含む)で改善・向上の取り組みについて審議・決定している。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
4-19健康	健康科学科資格取得者数の推移			
4-20健康	学則変更新旧対照表(新カリキュラム)			
4-21心身	心身科学部教授会議事録			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにし
 たうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、
 記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既にも実施している場合はその進捗状況も含めて）を
 記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 入学者受入れの方針(AP:アドミッション・ポリシー)として、大学ホームページ、入試要項等で公表している。健康科学を活かしたアプローチができる人材を養成する本学科としては適切な内容と考えている。</p> <p>(2) 入試要項で各試験別に学科が求める学習歴、学力水準、能力等を公表している(大学ホームページでも公表)。アドミッション・ポリシーでは学科が求める学生像を示している。大学全体として多様な人材を幅広く求める趣旨から、入試方法の選択肢を多くしている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-1健康	「アドミッション・ポリシー」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/ideal/admission01.pdf 】 <input type="checkbox"/>			
5-2健康	「入試要項」ウェブサイト【 https://navi.agu.ac.jp/examination/ 】 <input type="checkbox"/>			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 健康科学科では、学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を設定している。AO入試や推薦入試では、健康科学科の教育方針の理解を確認して選抜をしている。一般入試では心理学科の学びに相応しい学力を有しているかを試験によって評価し入学者を選抜している。</p> <p>(2) 愛知学院大学入学試験委員会規程に基づき、健康科学科では毎年入試委員を選出し、大学の入試委員会に出席し、大学および学科の学生受け入れ方針に従い、入学者選抜を実施している。</p> <p>(3) 健康科学科では、学生募集および入学者選抜が、学生の受け入れ方針に基づき公正かつ適切に実施されているかについて、教授会、入試委員会等を通して定期的に検証している。</p> <p>(4) 健康科学科は人の行動と心に関心を持つ学生で一定の基礎学力があれば、自分の得意な部分を生かして学習を進めていくことができる。社会人の経験のある学生にも門戸を開いている。留学生に対して留学生選抜試験を行っている。障がいのある学生の受け入れについては、車椅子で受講できる教室を整備し、エレベーターも完備されており、受け入れの障壁を最小限にするよう努めている。その他の障がいについても個別に対応し、可能な限り受け入れることができるよう努めている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
5-2健康	「入試要項」ウェブサイト【 https://navi.agu.ac.jp/examination/ 】□			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 健康科学科の学生のレベルを一定に保つためにも、定員数を超過して受け入れることがないようにしている。またAO入試、推薦入学の入学者数も適正な数にして、質の確保に努めている。 <学士課程> ・入学定員180名(2019年度～、以前は155名)名に対して、2019年5月1日時点において、各学年の在籍学生数は1年生193名(1.07)、2年生157名(1.01)、3年生154名で(0.99)、4年生155名(1.00)である。 ・編入学定員は2年生1名で、3年生1名であるが、今年度2年生編入(転籍)は2名で、3年生編入は0名である。 ・収容定員に対する在籍学生数比率は1.031である。 ・入学定員に近づけるように大学の入試委員会が定期的に検討を行っている。 なお、在籍者過剰によって学習効果に不利益が生じないように、助手を2名配置している。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-3健康	募集定員の推移			
5-4健康	教育情報の公開 入学者数など。ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/data/teiin.pdf 】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 入学後の修学状況(出席状況、成績、学科イベントでの活動状況、就職状況等)を参考にして、入試方式ごとの定員について、毎年適切かどうかを検証し適宜修正をしている。				
(2) 入学定員は毎年学科会議で審議して決定している。また、入試小委員会が設けられており、具体的な改善策について受験者の不利益にならないように慎重に検討が行われている。				
[根拠資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
5-5健康	「入試データ」ウェブサイト【 https://navi.agu.ac.jp/examination/information/result.html 】			
5-6健康	健康科学科学科会議要約(2019年4月抜粋)			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名	

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	◇新規項目 各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1)健康科学科は、医療・保健衛生、教育、福祉などの多彩な領域で活躍できる多様な資格(保健体育教員、養護教諭、健康運動指導士、言語聴覚士など)を取得することが可能である。医療・保健、教育分野の多岐性を勘案し、各分野の素養を有する職業人(スペシャリスト)の養成において優れた研究業績を有する教員組織の編制を、「心身科学部健康科学科 教員組織の編制方針」に基づいて行っている。				
[根拠資料] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-1健康	心身科学部健康科学科 教員組織の編制方針			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 学年180名の定員に対して教員は18名である。資格取得をカリキュラムの中心としている本学科では、必要な専門職を有する教員が配置されている。				
(2) 学科会議で議論し作成した「心身科学部健康科学科教員選考内規(内部基準)」に基づき適切に実施している。				
(3) 学科開設時、文部科学省ならびに各種資格認定団体における教員資格審査で承認された専任教員で構成した。教員の補充の際には、教員選考において科目担当の適合性について十分に審査した上で決定している。新任の教員については、必要に応じて文部科学省ならびに各種資格認定団体の審査を受けて承認されている。				
(4) 教養教育科目24単位、専門教育科目92単位を卒業必修とし、残りの12単位は教養教育科目と専門教育科目を自由に選択できるようにしている。このように、学生のニーズに応じて学びの自由度を広げることによって学士課程における教養教育の意義を位置づけている。健康科学科は目的とする資格取得に応じて教養教育科目と専門教育科目を選択する必要がある、このような教養教育の位置づけが適切と考えている。				

【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
6-2健康	心身科学部健康科学科教員選考内規
6-3健康	各教員の専門【 https://aris.agu.ac.jp/aiguhp/KgApp?courc=22003000 】
6-4健康	「学則 別表7」ウェブサイト【 https://www.agu.ac.jp/pdf/guide/2018/gakusoku-2.pdf 】
4-5健康	健康科学科カリキュラム概要(心身科学部履修要項抜粋)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1)「心身科学部健康科学科教員選考内規」に基づき、原則公募として教員選考を実施している。選考ならびに昇任については文部科学省の大学設置基準ならびに学内規程に従って実施している。</p> <p>(2)「心身科学部健康科学科教員選考内規」に従い、1名の昇任人事を実施した。</p>				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-2健康	心身科学部健康科学科教員選考内規			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 教員の教育研究活動等を心身科学研究所の紀要である「心身科学」に毎年公開している。同内容を心身科学研究所のホームページでも公開している。また、全学のFD委員委員会活動に学科としても参加しているほか、学部のFD活動にも参加している。</p> <p>(2) 教員の教育活動、研究活動、社会活動等を教員業績システムにおいて、目標・計画及び自己評価を入力しており、教育・研究・社会活動の活性化に役立っている。</p>				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
6-6健康	心身科学研究所研究活動 健康科学科【 http://instpsph.agu.ac.jp/activities/activities_kenko/index.html 】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 資格取得者数、教員採用試験結果、言語聴覚士国家試験結果、就職率等で教員組織の適切性について検討している。</p> <p>(2) 資格取得者数や資格希望者数を、教員新規採用にあたっての専門分野決定の参考にしている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
4-19健康	健康科学科資格取得者数の推移			

2. 長所・特色

点検・評価項目番号		長所・特色
		なし
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>		
根拠資料名		

3. 課題・問題点

点検・評価項目番号		課題・問題点
		なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既の実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 学科教員が中心となってオーストラリアにおける Queensland University of Technology (QUT) からの約2週間にわたる短期滞在大学生 10 名及び引率教員の受け入れを2017年9月より年1回のペースで継続的に行っている。この短期滞在に際しては、本学学生とQUTの学生との交流の場を多く設けるほか、QUTの学生の禅を含めた日本文化の体験、地元小中学校の訪問、そして地元生徒との交流の機会を設定し、文化交流の充実を図っている。</p> <p>(2) 毎年学部で行っている市民向けの「健康カレッジ」に講師を派遣し、市民の健康の増進に貢献している。また、ゼミ担当教員と学生がジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグチームのホームゲームの運営をサポートし、観客が楽しめるイベントの企画・実施、会場設営、受付、ステージ補助などに奔走し、スポーツが生み出す感動を多くの人と分かち合い、地域に活気をもたらしている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-1健康	令和元年度 なごや健康カレッジパンフレット			
9-2健康	シーホース三河株式会社と愛知学院大学の連携協力に関する協定書			
9-3健康	プロバスケットイベント企画【 https://www.agu.ac.jp/crossover/sp/business/index2.html 】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) Queensland University of Technology (QUT) からの短期滞在大学生受け入れについては、映像資料や各種のレポートを作成し記録に残し次年度の受け入れに向けた振り返りに役立っている。ただ、受け入れにあたる学科教員個人が授業や分掌業務等の本務の合間を縫って受け入れに当たっているために、十分な振り返り資料を作成し、国際交流の適切性について、計画的に点検・評価を行うまでは至っていない。</p> <p>(2) ホームゲームにおける「愛知学院DAY」における点検・評価について、チーム側からマーケティングデータやスタッフ評価が行われている。学科としては、参加学生による自己評価シートを作成している。ホームゲーム興行におけるインターンシップでは、業務終了後に毎回自己評価を実施している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
9-4健康	入試広報課へのレポート(2017)			
9-5健康	QUT staying results (2018)			
9-6健康	「愛知学院DAY」における評価シート例			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
②－(1)	学生の国際交流への意欲を高めるために貴重な機会であるが、交流事業のプログラムの立案や他箇所との調整を学科教員個人が行っており、当該教員への負担が大きくなっている。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
②－(1)	今後は、学部・学科間協定もしくは大学間協定などを経て、本交流事業を本学国際交流センターの支援を受けられる組織的事業へと発展させることが望ましい。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B